

港北区災害ボランティア連絡会ニュース

事務局 〒222-0032 横浜市港北区大豆戸 13-1 吉田ビル 206 港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX045-531-9561

HP <http://kohoku-saibora.jimdo.com>

FB 港北区災害ボランティア連絡会

81号

2019年11月



* 入会は随時受け付けています。あなたの町の防災度を高めるためにお力を貸してください

甚大な被害をもたらした台風19号、21号

15号、19号、21号と引き続いた台風による被害は県内を含む多くの都県に及び昨年の西日本豪雨を上回る全国で65,000戸の家屋被害が生まれました。そこからは内水氾濫の怖さ、避難所の定員過剰、避難のタイミング、水害と地震では避難所立地を変えなければならないこと、そしてボランティア不足など様々な課題が浮かび上がりました。(宇田川)

県内では相模原市と川崎市の被害が大きく、被災者の救援が最大限できるように災害救助法を適用しています。箱根でも48時間雨量が1000mmを越える土砂降りや温泉や箱根登山鉄道に甚大な被害をもたらしました。

川崎市の水害の原因としては多摩川の流量が多過ぎて下水を流すことが出来なくなった「内水氾濫」が上げられています。現在の下水の処理能力は50mm/時間ですから、最近の異常な雨の降り方では各地で起きる危険性があると思わなければならないでしょう。まず

はこの機会に下図の港区内水氾濫ハザードマップを見てみませんか。

避難所各地で開設

大雨特別警報が出されたため区内でも避難所が開設されました。今回の被害で災害対応が地震に偏っているとの指摘が多く出されましたが、地域防災拠点の運営が、地震の際は拠点運営委員会、水害の際は区役所となっている事は多くの住民は知らないでしょう。そのための混乱もあったようです。

また鶴見川遊水池やマンション地下遊水池など水を一時的に溜める施設が各所にできたおかげで浸水被害を長らく経験していない港北区ですが油断は大敵です。

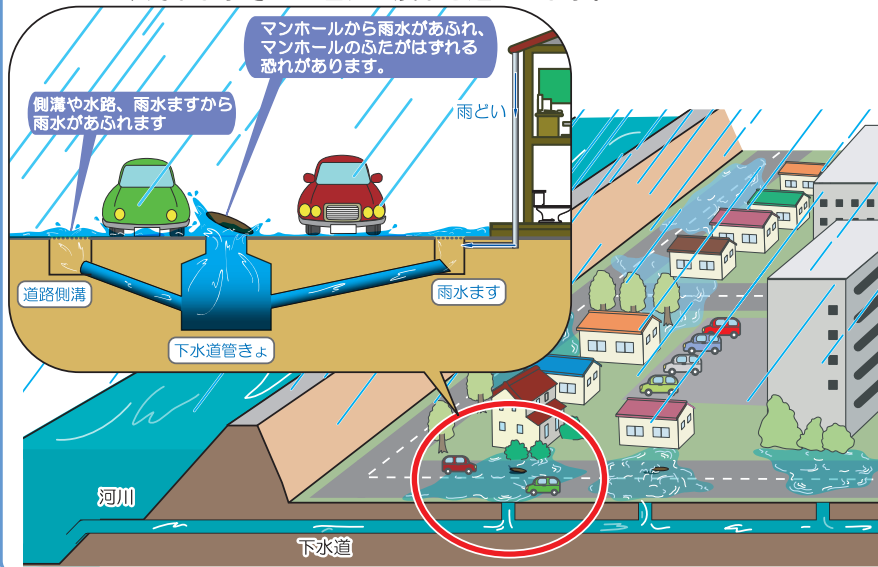
備えは万全に

台風19号接近の情報を受け、ホームセンターでは養生テープやブルーシートが売り切れる事態が発生しました。雨戸の無いマンションは特に強風には注意しなければなりません。水はわ

下水道や水路などからの浸水とは？

街に降った雨は、下水道管や水路、道路側溝などを流れて河川に排水されます。

大雨で下水道管や水路がいっぱいになってしまうと河川に排水できず、マンホールや雨水ます等から溢れて浸水を起こします。



ずかな隙間からも侵入しますから適切に土嚢などをおかなければ意味がありません。



この写真はあるマンションの入り口の備えですが、玄関両側のガラス窓に左上だけ段ボールが張ってあります。土嚢はこんな置きかたでした。個人住宅と違い、何時誰が出入りするかわからないマンションのため、いざとなったらすぐに塞げるように、との思いかもしれませんが、いずれにせよ土嚢不足です。

全てがゴミになる辛さ



水害被害の深刻さの一つ目は水と泥の処理です。床下といわず、戸棚といわず、冷蔵庫の中まで泥水が入った様子を見た被災者は本当にがっかりします。泥を取り除いても、次はカビが待っています。乾燥させるためには床と壁を取り、風通しを良くしなければなりません。二階建ての場合は二階で住みながら復旧に当たる方もいますが、健康維持が難しくなります。

二つ目は水に浸かった家財道具の処理です。永年買いそろえて愛用してきた家具調度をすべて捨てなければならない辛さを想像してみてください。しかもその補填費用はどこからも来ませんから経済的な負担も大変なものがあります。被災者に直接届く義援金の意味はここに有ります。

ボランティアが足りない

この間あちこちで悲鳴が上がっているのが人出不足です。15号では瓦屋さん不足で手付かずの中、その後の台風で再度室内が水浸しとなりました。浸水被害地では圧倒的なボランティア不足の悲鳴が各地で活動している救援団体から出されています。

この度の被害にあわれたみなさまに、心よりお見舞い申し上げます

水害後の家屋への適切な対応

1.床下を確認する(床はがし) 床下浸水でも必ず確認することをお勧めします

和室の場合

- ・畳の下にある板をはがす。
- ・板は無垢材なら洗浄して陰干しすれば再利用可能。
- ・どの部屋の何番目なのか「印」をつけてから外す。

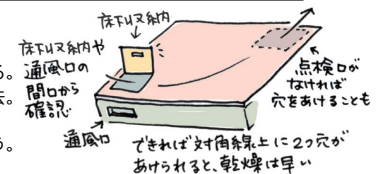


★特に注意すること

- ・サッシや敷居の下に潜り込んでいる板は無理に外さない
- ・一部切断する場合は、根太の中心で切ると再利用可能
- ・根太は切らない、どうしても切る場合は、大引きの中心で切る

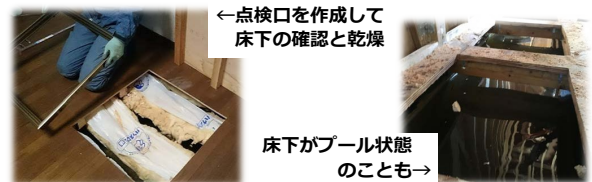
洋室の場合

- ・床下収納、点検口を開ける。
- ・床下に水や泥があれば除去。
- ・点検口などが無い場合は、工務店などで作ってもらう。(相場は2~3万円)



★特に注意すること

- ・自分で点検口をつくる際は正方形(一辺60cm未満)に開ける。
- ・貼り合わせのフローリングは、長持ちしない可能性が高い。
- ・もくって作業する場合は、換気に注意して必ず複数名で行う



Supported by 震災がなくなるときのネットワーク 協力: 風組関東/MFP (2019年10月) 1

これは「震災がなくなるときのネットワーク」が出している「水害にあったとき」の一ページです。復旧のためには、まず泥まみれの家具を運び出さなければなりません。水を吸った畳は一枚100kgにもなります。床の上のものをすべて片付け、床板をはがす作業をしてから床下にもぐり泥をかき出し、壁をはがし、

乾燥をさせ、その間に業者を捜して見積もりを出してもらい、といった大変な作業が待っています。

Q:一軒の家を片付けるのにどれだけの人数が必要でしょうか。

今までの経験からすると床上浸水にあい、すべてを廃棄しなければならないとすると、単純計算で10人×10日＝延べ100人程度は必要です。それを住人自ら行うのは不可能ですから、ボランティアが必要になりますが、今回の被災家屋数65,000×100＝650万人をボランティアに頼っているだけでは解決しません。行政が業者と協定を結び、必要な資材と人手を確保し、ボランティアはその補助にまわる位の体制でなければ片付かないでしょう。もちろんその原資は税金です。私たちは有効な税金の使い方も考えなければ、私たちの暮らしを守る事は出来ない事になります。

おすすめ災害本

「水害にあったとき」

震災がつなぐ全国ネットワーク
—水害ボランティアや自治体必携—

Web公開版(2019年10月)

水害にあったときに

震災がつなぐ全国ネットワーク・編



この冊子では、写真やイラストを用いて、

1. まずは落ち着いて（ある程度の期間がかかるので慌てずに）
2. 必要な手続き（役所や保険会社、税務署など手続きもいろいろ）
3. 家屋のかたづけと掃除（何をどうすればいいのか写真とイラストで解説）
4. 水害からの生活再建「私の場合」（被災者の生の声を掲載）

という構成で、水害にあった際の対応について情報を掲載しています。

多くの被災者は初めての体験で疲れと心配で心が乱れ、しかも有効な支援の手が差し伸べられないことが多くあります。行政も混乱と多忙で十分な対応ができないことも多々あります。そんなときボランティアからのこの情報提供はとても助かったとの声が多く届いています。

被災された方・被災者に配布したい方へ

冊子を希望の方は、以下のフォームからお申込みください。なお、冊子は水害被害にあった地域に支援者が迅速に持ち込み、直接配布することを想定しており、一般地域を含めた全戸配布などは想定していません。被災された自治体等で多数希望される場合は、事務局までお問い合わせください。また、作業の都合上送付は10部単位とさせていただきます。となっていますが、震災がつなぐ全国ネットワークのHPからダウンロードすることができます。ぜひ参考にしたい本です。（宇）

若者が手伝ったミニらくらく市

らんがく舎の若者が上手な口上でお客さん呼び込み、売り上げ増に貢献してくれました。



中島さんちの防災

10年前から、愛車は三菱のデリカ D5です。
・ボーイスカウト活動のために、キャンプなどによく行く

・5人家族なので、家族全員がゆったり乗れて荷物も載せることができる

というのが、大きな選定理由ではありますが、実はデリカ D5 は我が家にとって大きな災害の備えでもあります。

デリカ D5 には 100V の電気出力端子。シガーライターソケット・USB 端子が存在します。このどれを使っても、スマホ・タブレット・ノートパソコンなどへの給電が可能です。車はアイドリング状態では1分間で約 150cc の燃料を消費します、デリカ D5 の燃料タンク容量は 65 リットルあります。アイドリングをさせた状態で、スマホ・タブレット・ノートパソコンなどを充電すると

$65 \text{ リットル} \div 150 \text{ cc} = 433 \text{ 分}$

7時間以上の「充電」が可能ということです。

(実際には、そこからバッテリーが完全放電するまでも利用できます)デリカ D5 の場合、一度に6台まで充電ができます。EV と異なり、燃料を使い切っても、タンクをもってスタンドまで歩いて行って燃料を購入し給油すれば、すぐに動かすことができますので、ギリギリまで充電スタンドとして利用することができます。

ということで、可能な限り燃料は「満タン」にするようにしています。デリカ D5 に限らず、USB ケーブル端子さえあればスマホに充電できる車がほとんどです。車に装備として USB ケーブル端子がないときは、ぜひ、シガーソケット用 USB ポートを購入しておかれることをお勧めします。



2019シミュレーション訓練

本当にボランティアセンターは立ち上がるのか

とき：2019年12月8日（日）9時～14時

ところ：港北区福祉保健活動拠点

港北区で災害が発生したときは、区の要請を受けて、区・港北区社協・港北区災害ボランティア連絡会の三者協議でボランティアセンターを立ち上げる事になっています。ボランティアが集まっても、ボランティアセンターが機能しないと、有効な被災者支援は出来ません。

では本当にボランティアセンターを立ち上げることができるのでしょうか。

- 1、発災からボランティアセンター立上げまでに、個々の会員がすべきことはなにか
- 2、ボランティアセンター立上げに要員が集まったらどんな手順で開設するのか
- 3、開設までに考えるべきこと、するべき事はなにか
- 4、ボランティアの受付から送り出しまでの業務はスムーズにできるか

など現在の環境や準備・施設で本当に大丈夫なのか。足りないものはないのか。できない事はないのか。一から全員で考えてみる訓練です。多くの会員の参加をお待ちしています。

編集後記

☆台風対応でボランティア不足が叫ばれていますが、ボランティアを集めるための宿泊所の提供や交通費補助などの工夫が欲しいです。(宇田川)

☆昔、多摩川河川敷が増水して、不謹慎ですが、一月ほどテニスができなかった時のことを思い、今頃になって怖さを感じました。(付岡)

☆自然災害への備えとして、保険の契約内容を理解し、見直しておくことも大切な自助です。(中島一)

☆横浜市では、災害ゴミ仮置き場は発災後に用地調整を始めるようなのですが、泥縄では？(室伏)